

未来へ夢を育む学校



# 学校だより

(題字 学校長)

3月号 学校長 望月 重晴



## 教職員の働き方

学校長 望月 重晴

この学校だよりを書いている今、本校の梅の花は満開で咲いています。いよいよ3月、学校は1年間のまとめの月です。新型コロナウイルス感染症対策のために初めて全国の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業が実施されたのは令和2年3月2日でした。時はすでに3年が経とうとしています。今日に至るまで、本校では、子どもたちの安心や安全を考え、横浜市立学校のガイドライン（現管理衛生マニュアル）に基づいて教育活動を進めてまいりました。おかげさまで、今年度は、授業参観や懇談会、修学旅行や宿泊体験学習等年度当初に予定した教育活動をほとんど実施することができました。今年度も1年間、本校の教育活動に多大なご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、2月21日（火）に、今年度最後の学校運営協議会が行われました。学校運営協議会は、学校運営の改善や子どもたちの健全育成を目的とし、保護者や地域の代表の方や学識経験者の方々などで構成されています。本校では、前期に今年度の学校計画についてご説明し、運動会や公開授業研究会などの学校行事の参観を通じて評価をしていただき、今回は今年度の振り返りをご報告しました。報告のひとつに「教職員の働き方」を挙げました。

教職員の働き方を示すひとつの視点として勤務時間外の平均在校時間があります。本校の勤務時間外の平均在校時間は、夏休みなどの長期休業期間を除き、毎月概ね50時間前後となっています。これは、他校と比べても多いと感じています。つまり、働き方改革を進めていかなければいけない状況と捉えています。ちなみに、本校のフルタイム職員の勤務時間は、8時15分から4時45分で、基本的に休憩時間は、3時30分から4時15分です。子どもたちが下校した放課後の業務については、皆様になかなかお伝えする機会がないのですが、学校運営や学校行事に対する諸会議や教材研究などの授業準備や採点等の成績処理、また子どもたちに関する情報共有や保護者の方への連絡も行っています。6時間目まで授業がある場合は、子どもたちの下校時刻は3時30分近くになるので、これらの業務については休憩時間後、または急ぎの場合は休憩時間に行います。

校長としては、毎日子どもたちに関わる教職員には、一人ひとりの子どもたちに寄り添って丁寧にかかわり、教育活動が充実するために、情熱をもって取り組んでほしいと思っています。その実現のためには、教職員の心身も健康であることが大前提と考えています。しかし、教職員であっても心身の健康が保たれないときや出産等でお休みする場合があります。その教職員が安心して休むことができるようになることも大切だと思います。今、全国で教員不足が話題となっています。本校でも代替の教職員が決まらず、人員が足りていない状態が続いていて皆様にご心配をおかけしています。子どもたちに対してできる限り影響が出ないように校内で調整をしていますが、とても心苦しく思っています。

学校では、子どもたちの元気な笑顔やあいさつがたくさんあふれています。反対に、友達とけんかをしてしまったり担任と自分たちの行いを振り返っている場面もあります。子どもたちは、人とのふれ合いの中で嬉しいことや楽しいこと、悔しいことや悲しいことなど様々な経験をして成長していきます。それを支えていく教職員が、心身ともに健康な状態で子どもたちに関わっていくことは大切なことです。

おおよそ以上のように、学校運営協議会の皆様にお伝えしました。本校では、今までも働き方改革と関連して、留守番電話の設定やICT機器を使った健康観察やアンケートなど取り入れてきました。次年度においても、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、さらに働き方改革を進めていきたいと考えています。いつもお願いばかりで申し訳ございませんが、ご理解とご協力をいただけましたら幸いです。